

## 平成 25 年度 広瀬図書館利用者懇談会 実施報告

- 1 日時 平成 26 年 3 月 1 日（土） 13 時 30 分～15 時
- 2 出席者 ご利用者 : 4 名  
ボランティア団体 : 2 名（内訳：読み聞かせボランティア 2 団体 各 1 名）  
学校関係者 : 1 名  
広瀬図書館 : 広瀬図書館長  
他 4 名
- 3 内容
  1. 開会
  2. 挨拶 広瀬図書館長
  3. 自己紹介
  4. 平成 25 年度の取組み
  5. 図書館アンケートについて
  6. 広瀬図書館へのご意見・ご要望等
  7. 閉会
- 4 広瀬図書館へのご意見・ご要望等

ご出席者の運営評価、皆様から頂戴しましたご意見・ご要望は以下の通りです。

#### （1）広瀬図書館の事業全般

##### ○定例おはなし会について

- ・広瀬図書館のおはなし会を月 1 回担当させていただいているが、参加者の顔ぶれが前回とあまり変わらないということがある。おはなし会のことをもっと知っていただいて、より多くの方に参加してもらいたいと思っている。

##### ○あかちゃんおはなし会について

- ・参加者が多い場合など、赤ちゃんが泣いてしまっても外に出ることが難しい状況になっている。会場については検討する必要があるのではないかと。
- ・広瀬文化センターの 2 階にはキッズルームなどもある。そこを会場として実施するのはどうか。

#### 【広瀬図書館からの回答】

- ・あかちゃんおはなし会の実施会場や、多くの方にご参加いただいた場合などの対応について、今後検討を行ってまいります。
- ・平成 26 年度はあかちゃんおはなし会の回数を現行の月 1 回から月 2 回に増枠することを検討しております。また、参加者の皆様より親しまれるような愛称を決定することも計画しております。

##### ○読書会について

- ・本を介して人とのコミュニケーションのとりことのできる読書会などを実施しても良いのではないかと。

#### 【広瀬図書館からの回答】

- ・平成 26 年度の事業として「ひろせ読書会」の実施を計画しております。

## ○ビブリオバトルについて

※読書会の話題に際し、図書館側から「昨今、ビブリオバトルが一般的になってきたが、これについてはどのように思うか」との問い掛けを行った。これに対する回答を含む。

- ・ビブリオバトルが流行りのようだが、順位をつけるのはどうかと思う。
- ・知り合いにビブリオバトルのサークル活動をしている人がいて、その話を聞いていると広瀬図書館でも実施してみてもいいと思った。
- ・ビブリオバトルは大学のゼミなどで発生してきた取り組みで、プレゼンテーション能力を評価するゲームなので悪くはないと思う。子どもたちのプレゼンテーション能力を養うためにはよい機会なのではないか。
- ・そもそも読書ということとは観点が異なるのではないか。先ほど、プレゼンテーション能力についての話が出たが、本の紹介を通じた自分のアピール合戦のような感じでちょっと馴染めない。

## 【広瀬図書館からの回答】

- ・読書会と並び読書体験を共有できる事業として、広瀬図書館でも実施を検討した経緯がございます。いただいたご意見につきましては、今後の事業企画において参考にさせていただきます。

## ○その他

- ・子供たちが夏休み読書スタンプラリーにとっても楽しく参加をさせてもらっている。こうした蓄積型のイベントを今後も実施していつてもらいたい。
- ・「ラッキーブックをさがそう！」（秋の子ども読書フェスティバル関連事業）は、子供たちが読んだことのない本に触れる良い機会になった。
- ・広瀬図書館の事業の説明を聞いて、実施していることを知らないものも多かった。広瀬図書館の行事は、建物（広瀬文化センター）の2階で実施することも多く、図書館利用者が気付かないことも多いので、建物のエントランスで行事をやるなど、利用者の動線の中でイベントを行うと良いのではないか。
- ・広瀬文化センター（図書館併設施設）では色々な音楽イベントをやっているので、読書を邪魔しない程度に館内で演奏をしてもらうようなイベントはできないものだろうか。
- ・お母さんを対象とした読み聞かせ講座などを実施してみてもどうか。
- ・中学生の図書館利用がとても少ない。中学生や高校生の利用を促進するような事業を実施してみてもどうか。

## （２）図書館サービス全般

### ○資料貸出時の対応について

- ・以前に資料の貸出を受けた際、個人的な事情（病気等）に関わる本の表紙が見える形で渡された。渡し方にも決まりがあるのかもしれないが、友人や知人が図書館にいることもあるので、本の内容によっては配慮して欲しい。

## 【広瀬図書館からの回答】

- ・資料貸出時の本のお渡しの仕方について、今後の対応を検討させていただきます。

### ○資料返却時の対応について

- ・本の返却に関する行き違いが複数回あり、ボランティアメンバー内でも返却の確認をするようにした。返却時に未返却となっている冊数を言ってもらえると助かるので、図書館と意思疎通を図っていききたい。

【広瀬図書館からの回答】

- ・団体カードでの貸出資料が返却された際の冊数の確認について、今後の対応を検討させていただきます。

○新聞・雑誌の閲覧コーナーについて

- ・土日に来館すると、新聞・雑誌の閲覧コーナーが新聞を閲覧する人で常に埋まっている状態で、雑誌を読むために座る場所が確保できない。新聞と雑誌を別の場所に置くことはできないものか。

○絵本の配架について

- ・絵本は対象の年齢層ごとに本を配置しておいてくれると、自分の子供に合わせた本が選びやすいと思う。

【広瀬図書館からの回答】

- ・広瀬図書館で実施しております対象年齢による本の配架といたしましては、比較的小さなお子様向けの絵本を「おはなしのへや」内に別置させていただいております。これ以外の絵本については、同じ年齢のお子様であってもお選びになる絵本の内容に差異があることや、資料の探しやすさなども鑑みまして、ジャンルや著者名によって分類される請求記号に基づく配架を行っております。

○絵本を書庫に下げる基準について

- ・子供は絵を見て絵本を選ぶものだが、絵本を書庫に入れる基準などはあるのか。

【広瀬図書館からの回答】

- ・複本のある資料のほか、季節ものの絵本については時季によって開架資料との入替を行っております。

○障害者サービスについて

- ・仙台市図書館ホームページの記載を見ると、広瀬図書館では障害者サービス（郵送貸出・対面朗読）を実施していないようだが、これには理由があるのか。

【広瀬図書館からの回答】

- ・現在、障害者サービスについては各区の地区館で実施することとなっており、市民図書館の分館である広瀬図書館では実施をしております。

○仙台市図書館のホームページ（Web-OPAC を含む）について

- ・図書館のホームページはどこが管理をしているのか。
- ・移動図書館（BM）の停車場所をホームページに載せて欲しい。
- ・ホームページ（Web-OPAC）を使っていると、確認のためのポップアップが操作を行う度に出てきて使いにくい。
- ・書名や著者で検索をしてヒットしないのに、ISBN で検索すると見つかることがある。検索の設定が甘いと感じることがある。所蔵がないと思われるのももったいないのではないか。
- ・宮城県図書館などの Web-OPAC と連動してくれると良いと思う。

【広瀬図書館からの回答】

- ・ホームページの管理は市民図書館が行っております。
- ・宮城県図書館のホームページから宮城県内図書館の資料を横断的に検索することが可能です。ここで検索していただいた資料については、仙台市図書館には所蔵がない場合でも、図書館間の相互貸借により資料を提供できる場合がございます。

○相互貸借資料の複写について

- ・相互貸借により仙台市以外の図書館から取り寄せた資料の複写は可能か。

【広瀬図書館からの回答】

- ・資料を貸し出した図書館によって対応には差異がございますが、明示的に複写が禁じられている場合を除きまして、所定の申込書にご記入をいただいた上で、著作権法等の定める範囲内において複写は可能です。

○シリーズ資料の欠巻について

- ・シリーズになっている児童書に欠巻のあるものがある。これは何とかしてもらいたい。

【広瀬図書館からの回答】

- ・ご指摘のような欠巻資料については、シリーズ全体の利用状況等も鑑みつつ、購入を検討させていただきます。

○一般書の展示スペースについて

- ・広瀬図書館の一般書展示スペースはカウンター前にあるが、カウンターの図書館職員に背中を向けて本を見る形になるため、若干抵抗がある。以前は違う形だったと思うのだが、検討してもらえるとありがたい。

【広瀬図書館からの回答】

- ・以前の展示スペースは現在の展示スペースに隣接する形で、カウンターには側面を向けているような形でした。いただいたご意見につきましては、館内でも対応を検討させていただきます。

○その他

- ・広瀬図書館の職員はカウンターの外に出ていることも多く、分からないことを聞きやすく良いと思う。
- ・カウンターで図書館職員から本をおすすめしてくれることがある。この対応はとても良いと思う。
- ・大阪や横浜に住んでいたことがあるが、これらの都市の図書館と比べると、広瀬図書館はとても小さく、本も少ないという印象を受ける。

(3) その他のご意見・ご要望

○広瀬図書館内における行事等の広報について

- ・現在、広瀬図書館では広瀬図書館の行事しか分からない。榴岡図書館をはじめ興味深い行事を行っている図書館もあるので、行事の一覧を作成してもらえると便利。市の広報誌に載っているものの、地区が違くと分からない。

【広瀬図書館からの回答】

- ・広瀬図書館の館内で「市政だより」の配布を行っておりますが、青葉区版のみという状況でございますので、全市版の配布などについても検討してまいります。

○図書館及び実施事業等のPR方法について

※図書館側からの「昨今、図書館の抱える課題として、利用者以外への働きかけが重要となってきている。図書館利用者以外へのPR方法を何かご提案をいただけないか」との問い掛けに対する回答を含む。

- ・生活保護の窓口には図書館のパンフレットを設置するのはどうか。図書館は無料で本を借りられることを知らない人も多い。
- ・愛子地区は子供が増えているが、図書館を利用している人は少ないと感じる。どうすれば本を借りられるのかを知らないお母さんなども多い。お隣の社会福祉センターや愛子幼稚園などでPRしてみても良いのではないか。
- ・マスコミ向けの広報を積極的に実施してみてもどうか。
- ・「図書館だより」に行事を掲載してはどうか。
- ・学校からの回覧物に行事のチラシを混ぜてはどうか。

- ・貸出レシートの裏面で行事の案内を行ってはどうか。
- ・行事のポスターなどは、児童館での掲示のほか商業施設での掲示が効果的だと思う。
- ・愛子駅にも広報を行う所定のスペースがあるので活用してはどうか。
- ・PRを行うターゲットを絞った方が良い。父親よりも母親をターゲットにしたPRの方がより参加には繋がりやすいと思う。
- ・チラシやポスターには参加することによって得られるメリットが明確になっていると良いと思う。行ってみようと思わせるような文面が重要。
- ・広瀬図書館は大きな駐車場を備えていることが強みなので、このことをポスターやチラシに記載すると良いのではないか。

#### 【学校関係者の談話】

- ・学校からの回覧物に図書館の行事のチラシを入れることはしていないが、「学校だより」に掲載する形で連携事業の取り組みなどを紹介している。

#### 【広瀬図書館からの回答】

- ・図書館の主催する行事のポスターは児童館のほか商業施設へも掲示を依頼して広報を行っております。一方、駅へのポスター掲示については何度かポスターをお持ちしたものの、お断りをされてしまった経緯がございます。
- ・ご提案の内容を踏まえて、今後のPR活動を検討してまいります。

#### ○子どもの読書推進に向けたボランティア及び学校との連携について

- ・学校や児童館での読み聞かせに図書館から借りた本を使っているが、できれば読み聞かせた本はその場所に置いてきたい。子供たちは読み聞かせてもらった本をすぐに読み直したいという気持ちを持っているし、学校の先生からも「(本は)置いていつてくれないのですか」との声がある。(ボランティア団体)
- ・他の自治体ではやっているところもあったと思うが、ボランティアが読み聞かせした本をそのまま学校が借りられる仕組みができて、学校・ボランティア・図書館の連携による読書推進が行えるようになると良いと思う。(ボランティア団体)
- ・広瀬図書館で取り組んでいる事業などがよく分かったので、保護者にもお伝えしていきたいと思う。(学校関係者)
- ・ブックトークの実施などを通じて、子供の年齢に合った本の選び方を啓発していつてもらいたい。学校でも子供同士が本を紹介しあうことを通じて、表現力や発表力を伸ばしていく取り組みを実施したいと考えている。(学校関係者)
- ・図書館を利用する児童の多くは本が好きな子供たちだが、学校としてはどの子にも図書館に親しんでもらいたい。読書推進は学校だけでは難しく、家庭や図書館との連携を課題のひとつとして取り組んでいきたい。(学校関係者)

#### ○図書館資料の貸出回数について

- ・以前に子どもが図書館の資料を破損してしまったことがあり、図書館の職員と資料の弁償に関するお話をさせてもらったことがある。資料弁償に関わるトラブルを避けるためにも、貸出が一定の回数を超えた資料については弁償の対象としない「耐用回数」のようなものを設定すると良いのではないか。

【広瀬図書館からの回答】

- ・図書館資料は継続的に多くの方にご利用をいただくことを想定して、汚損があった場合には、「次にご利用になられる方への提供が可能な状態であるかどうか」ということを基準として、これを満たさない資料について弁償をお願いしております。

○複本を多数購入した資料について

人気の本など多数の複本を購入した資料は、時間が経って貸出の需要がなくなった場合、どのような扱いになるのか。

【広瀬図書館からの回答】

- ・規定の年数を過ぎると除籍の対象となります。
- ・仙台市図書館では除籍資料の有効活用にも取り組んでおり、絵本や児童書などは泉図書館が中心となって、小学校や幼稚園への譲渡会を実施しております。

○図書館ボランティアの育成等について

- ・図書館に要望ばかりでは大変だと思うので、自分のできる範囲でお手伝いしたいという気持ちがある。
- ・図書館アンケートの結果を見ると、利用者の多くが50代または60代で、退職をしてまだまだ元気な方も多いはず。図書館ボランティアの養成講座があれば、参加する方もいるのではないかな。

○貸出レシート裏面の活用について

- ・横浜市では貸出レシートの裏面に広告を掲載している。これができれば広告収入を得ることができるのではないかな。